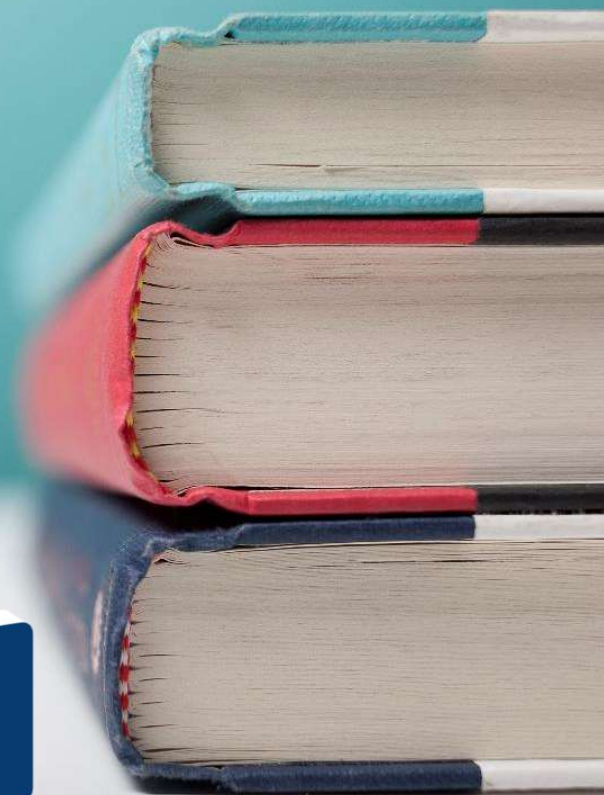




# 「新しい業務改善」で 日々の仕事をやり易く



風ユニット 菊地正明  
古畑真啓



# さて何で業務改善が必要な の何の為に？

職員による仕事のムラ

限られた職員

入居者の介助量増加

限られた時間

様々な業務



限られた時間で最大限  
の介護を提供するため

## 今までやってきた業務改善と今後について

- 水分摂取量を表にして1週間毎に表示し、対策が必要な入居者の明確化
- 排泄表の随時変更、引継ぎ欄や更新日の表記を追加
- 洗濯物のまとめ置きラックを設置し、決まった時間に一度に返却する
- シーツ交換を職員人数によって調整
- 清拭をタッパに入れて保管し毎回作成しなくても排泄介助に入れる
- 入浴前バイタルをフロアにいる職員が実施。少しでも入浴時間を多くする工夫
- 拘縮が強い方へポンチョタイプの上着を使用し安全な着衣が可能になった
- 食事介助の入居者が多くヘルプ要請や早出し、休憩タイミングを常に考えた
- お茶ゼリーの日付をマグネットで冷蔵庫に表記
- 食べこぼしが多く、動きが多い入居者にポケット付きエプロンを使用



### 今後改善したい事や課題

- 洗濯物がまとまって返却された時に置くのが大変。お願いしている入居者も大変そう
- おむつ使用量を減らす工夫をしたい ・薬の量を減らしたい
- 夜間の排泄介助を減らし良眠してもらいたい



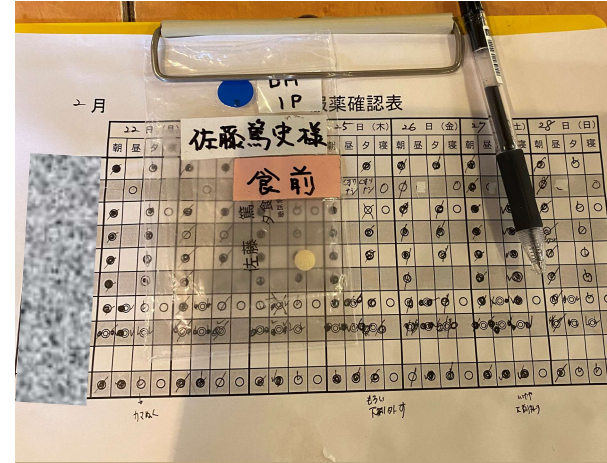
# 写真で解説業務改善②

## 与薬ミスを防ぐ仕組み

与薬確認表チェックしながら  
透明箱にセット



空袋や返却する薬は籠へ



人為的な与薬ミスを減らす

透明箱が空になれば与薬完了

人命に関わるので

# 今年度の新規入居者 I.S様

トイレ回数最大4回/1h

トイレ回数20-30回/1日



日や時間により立位不安定



強い力で身体拘束すると  
却って危険



臥床しても、1時間以内に  
離床しトイレに向かう

転倒回数1日最大3回

大腿部骨折の往生歴

障害物があれば立ち上がり  
トイレを目指す

# I.S様転倒防止大作戦

## I.S様の安全と職員の負担を減らす取り組みによる状況の変化

### 対策

- 車椅子から立ち上がるので、自動ブレーキ付車椅子に変更。
- L字バー設置。本人がトイレに向かいやすいベッド位置に変更。
- 遅番帯にたちばな、やまぶき共同で見守り。たちばな側が就寝介助中はやまぶき側ですごして頂く。
- 服薬時間の変更し夜間帯の入眠時間を増やし、職員が少ない時間の離床回数を減らす



### 現在の様子

- 車椅子変更効果は絶大で目に見えるように転倒回数は減った。
- 本人が慣れてきた性もあるがL字バーとベッドの位置は転倒を防ぐのに最適な状態
- 服薬時間の変更の効果とタイミングは今がベストか正直不明。ただ日にもよるが、夜間の入眠時間は増え起床時間もほぼ一定になった。

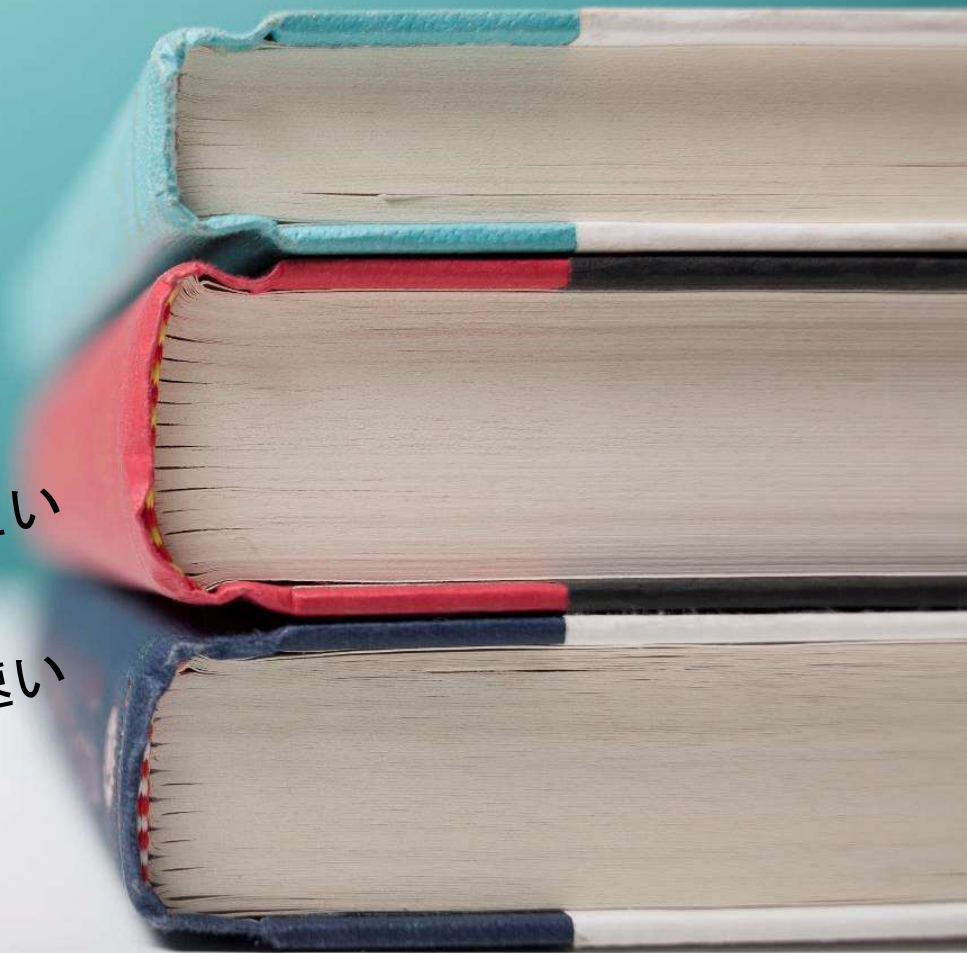
# 今までの話はわかったかな？

小さな工夫をコツコツと

少しでも入居者と関わる時間を増やしたい

最近はスピードも大切、時代も現場も変化が速い

大きな課題を少しずつ改善



ありがとうございました

Jens Martensson

jens@bellowscollege.com

